

【学校教育目標】故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成



養徳の森

令和8年8月27日(木)
学校だより 第4号
玉陵中学校 校長 志水 宏次

【スローガン】輝け玉陵：自らを律し、玉陵に誇りを持って輝く生徒へ

夏休みが終わり、前期後半スタート

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。子供たちの表情からは、それぞれに充実した時間を過ごした様子がうかがえました。心も体も一回り成長した子供たちの姿を見て、うれしく思います。

さて、今年の夏休みには、私たちが暮らす熊本県で大きな地震が発生しました。7月28日に発生した令和8年熊本地震では熊本県内で最大震度7を観測し、県内各地で大きな被害が発生しました。2016年の熊本地震から10年が経った今年、再び大きな地震を経験することとなりました。今回の地震をきっかけに、改めて「自分の命を守るためにはどうすればよいか」「家族や友達、地域の方々とのように支え合えばよいか」を考えることが大切だと感じています。学校でも、再度、災害について正しく知り、いざというときに自分で考え判断し、行動する力を育てていきたいと思っています。

夏休みを終え、これからは、文化祭や合唱コンクールなどの学校行事や様々な活動があります。仲間と力を合わせて取り組んでほしいと思います。一人一人が自分のよさや可能性を伸ばし、さらに成長していくことを期待しています。

保護者・地域の皆様には、夏休み中も子供たちを温かく見守り、ご支援いただきありがとうございました。これからも、子供たちの健やかな成長のため、よろしくお願いします。

7月の行事から～校内人権集会～

7月6日(月)、校内人権集会を行いました。今年も、玉陵小学校6年生の皆さんもリモートで参加し、小中で人権について考え、学び合う機会となりました。

集会に向けて、各学級では人権学習を進め、一人一人がいじめや差別について自分事として考えながら、学級人権宣言や人権標語づくりに取り組みました。

集会では、各学級の代表者が、学習を通

して考えたことや心に残ったこと、これから自分たちが大切にしていきたいことを発表しました。その発表を受けて、参加者は「返しの言葉」を送り合い、それぞれの思いや願いに耳を傾けながら、考えを深めました。

友達の発表に真剣に耳を傾け自分とは異なる考えや感じ方に触れることで、一人一人を認め合い、思いやりのある関係を築くことの大切さを改めて確認することができました。これからも、一人一人が安心して過ごせる学校を目指し、互いを尊重し合う仲間づくりを進めていきます。

7月の行事から～1年生 集団宿泊教室(阿蘇)～

7月7日(火)から2日間、1年生が阿蘇青少年交流の家で集団宿泊教室を実施しました。

「集団の一員として仲間と考動(考え、行動)し、阿蘇の自然に触れ、友達との絆を深めよう」をテーマに、仲間と寝食を共にしながら、自然体験活動や集団生活を通して多くのことを学びました。

活動では、「ルールやマナーを守る」、「時間を守る」、「てきぱき行動する」、「メリハリをつける」の4つを意識し、一人一人が責任をもって行動しました。仲間と協力しながら活動に取り組む中で、互いを思いやる気持ちや、協力することの大切さを実感することができました。

この2日間で得た学びや仲間との絆を、これからの学校生活にも生かし、一人一人がさらに成長してくれることを期待しています。

